

フルオートタイプ & オートタイプ

給湯暖房用熱源機 取扱説明書

タイプ	品 名	型 式 名	B L 品 番	号数
フルオート ー ト	GH-H240ZW	GH-H240Z(A)W	XT4216ARSAWC	24号
	GH-H240ZWH6		XT4216ARSAW6C	
	GH-H240ZYH6	GH-H240Z(A)Y	XT4216ARS2AW6C	
	GH-H240ZTH6	GH-H240Z(A)T	XT4216ARS4AW6C	
	GH-H240ZBH6	GH-H240Z(A)B	XT4216ARS8AW6C	
	GH-H240ZUH6	GH-H240Z(A)U	XT4216ARS9AW6C	
	GH-H240ZTFH6	GH-H240Z(A)TF	XT4216ARS0AW6C	
	GH-H240ZWH3	GH-H240Z(A)W	XT4216ARSAW3C	
	GH-H240ZYH3	GH-H240Z(A)Y	XT4216ARS2AW3C	
	GH-H240ZTH3	GH-H240Z(A)T	XT4216ARS4AW3C	
	GH-H240ZBH3	GH-H240Z(A)B	XT4216ARS8AW3C	
	GH-H240ZUH3	GH-H240Z(A)U	XT4216ARS9AW3C	
	GH-H240ZTFH3	GH-H240Z(A)TF	XT4216ARS0AW3C	
オート ー ト	GH-H240AW	GH-H240Z(A)W	XT4216ARSSWC	24号
	GH-H240AWH6		XT4216ARSSW6C	
	GH-H240AYH6	GH-H240Z(A)Y	XT4216ARS2SW6C	
	GH-H240ATH6	GH-H240Z(A)T	XT4216ARS4SW6C	
	GH-H240ABH6	GH-H240Z(A)B	XT4216ARS8SW6C	
	GH-H240AUH6	GH-H240Z(A)U	XT4216ARS9SW6C	
	GH-H240ATFH6	GH-H240Z(A)TF	XT4216ARS0SW6C	
	GH-H240AWH3	GH-H240Z(A)W	XT4216ARSSW3C	
	GH-H240AYH3	GH-H240Z(A)Y	XT4216ARS2SW3C	
	GH-H240ATH3	GH-H240Z(A)T	XT4216ARS4SW3C	
	GH-H240ABH3	GH-H240Z(A)B	XT4216ARS8SW3C	
	GH-H240AUH3	GH-H240Z(A)U	XT4216ARS9SW3C	
	GH-H240ATFH3	GH-H240Z(A)TF	XT4216ARS0SW3C	

タイプ	品 名		型 式 名	B L 品 番	号数
ド レ ン オ ー ト ア ッ プ 方 式	フ ル オ ー ト	GH-HD240ZWH6	GH-HD240Z(A)W	XT4216ARSAW6P	24号
		GH-HD240ZYH6	GH-HD240Z(A)Y	XT4216ARS2AW6P	
		GH-HD240ZTH6	GH-HD240Z(A)T	XT4216ARS4AW6P	
		GH-HD240ZBH6	GH-HD240Z(A)B	XT4216ARS8AW6P	
		GH-HD240ZUH6	GH-HD240Z(A)U	XT4216ARS9AW6P	
		GH-HD240ZTFH6	GH-HD240Z(A)TF	XT4216ARS0AW6P	
	オ プ ー ト	GH-HD240AWH6	GH-HD240Z(A)W	XT4216ARSSW6P	
		GH-HD240AYH6	GH-HD240Z(A)Y	XT4216ARS2SW6P	
		GH-HD240ATH6	GH-HD240Z(A)T	XT4216ARS4SW6P	
		GH-HD240ABH6	GH-HD240Z(A)B	XT4216ARS8SW6P	
		GH-HD240AUH6	GH-HD240Z(A)U	XT4216ARS9SW6P	
		GH-HD240ATFH6	GH-HD240Z(A)TF	XT4216ARS0SW6P	



この製品は、潜熱回収型(高効率)のガス代節約型給湯暖房用熱源機です。

このたびは給湯暖房用熱源機をお買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解したうえで正しくご使用ください。

■機器本体の表示について(→P.2)をご覧ください。製品の品名をご確認ください。

この給湯暖房用熱源機には保証書が付いています。

内容をよくご確認ください。

この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ、大切に保管してください。

取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口へご連絡ください。

その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、品名をお知らせください。

リモコン操作については、リモコン付属の取扱説明書も併せてご覧ください。

もくじ	ページ
製品の特長	1
潜熱回収型(高効率)の給湯暖房用熱源機です	1
安全に正しくお使いいただくために	2
この取扱説明書の表示について	2
機器本体の表示について	2
必ずお守りください(安全上のご注意)	3
各部の名称とはたらき	9
機器本体	9
浴室内	9
ご利用前の準備	10
機器の準備	10
工場出荷時の設定について	10

冬期の凍結予防をするには	11
不凍液による方法	14
再使用するとき	14
凍結してしまったとき	15
点検のポイント・お手入れのしかた	16
点検のポイント(月1回程度)	16
お手入れのしかた(月1回程度)	16
循環口フィルターの掃除(こまめに掃除)	17
給水口フィルターの掃除	17
定期点検のおすすめ(有料)	17
点検・お手入れ後の確認	18
故障かな?と思ったら	18
アラーム表示について	21
アフターサービスについて	22
仕様一覧	23

利用の前に

長くお使いいただくために

製品の特長

快適な「お湯のある暮らし」のための便利な機能を豊富に揃えました。どうぞお役立てください。

■潜熱回収型(高効率)の給湯暖房用熱源機です

従来の機器では捨てていた一次熱交換器の排熱(約200℃)を二次熱交換器で回収する、高効率タイプの給湯暖房機です。ガスを効果的に使え、環境面でもCO₂削減に貢献します。

ドレン水が出ます

二次熱交換器で回収された排気ガス中の水蒸気が熱を奪われ、凝縮(水蒸気が水に戻る)して凝縮水(ドレン水)が生成されます。このドレン水は排気ガス中のNO_x、SO_xが溶け込むため酸性水になりますが、機器内のドレン中和タンクで中和して排出します。

ドレン水は使用中、常時排水されます

機器の使用中は発生したドレン水(最大100cc/分程度)を常時排出します。ドレン水はドレン排出配管を通り、機器外へ排出されます。

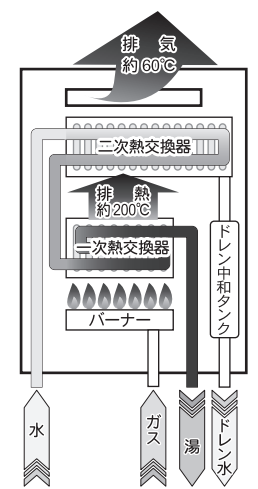
ドレン水は浴室内へ排水されます(ドレンアップ方式機器)

この機器のドレン水は1日約2～3回(1回の排出量=約500cc)程度、浴室排水口に排出します。このため、ドレン水の排出時には排出音がありますが、異常ではありません。

白い湯気が出やすくなります

二次熱交換器で回収された排気ガスは熱を奪われ、温度が低く水分を多く含んでいます。この排気ガスが外気に触れると結露し、白い湯気に見えます。

【高効率の仕組み】



便利です!

- ◆お風呂もシャワー・給湯も暖房も、これ1台でOK。
- ◆ふろ自動ボタンを押すだけの簡単操作でお風呂が沸かせます。
- ◆入浴お知らせ機能を使用すれば、入浴中に入浴時間をお知らせしたり、台所リモコンに入浴中をお知らせします。(フルオートタイプのみ)

快適です!

- ◆お風呂のお湯の温度を自動的に保温します。また、フルオートタイプは水位が下がったら、たし湯もします。いつも快適なお風呂です。
- ◆ミストサウナ機能付き浴室暖房乾燥機をご利用の場合、浴室へ入るタイミングをお知らせします。(対応浴室暖房乾燥機のみ)
- ◆ふろ配管をきれいにします。
フルオートタイプの機器では、お風呂のお湯を排水したときに、自動的にふろ配管内の残り湯を流しだす機能があります。以下の条件がそろったときに浴槽のお湯(水)を排水するとふろ配管の残り湯を、きれいなお湯(リモコンの運転が「切」の場合は水)約6リットルで流して浴槽の循環口から排出します。



条件

1. ふろ自動運転終了後、浴槽の残り湯が循環口より上にあった場合
2. 排水中に給湯等を使用していない場合

※ふろ配管内の残り湯を流しだす際には、ポンプの回る音がしますが故障ではありません。

環境にもやさしい!

- ◆リモコンは待機時の消費電力を低減するため、未使用時に画面表示を消す、省電力機能付きです。
 - ◆リモコンには水とガスのプチ節約のためのECO機能があります。
 - ◆残り湯はポンプ運転で洗濯機へ。水の節約(省資源)になります。
- ※浴槽の循環口の種類によって利用できない場合があります。

詳しくは、リモコンの取扱説明書をご覧ください

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について

製品を正しくお使いいただくためや、お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

危険 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お願い 安全・快適に使用していただくために、よく理解していただきたい内容を示しています。

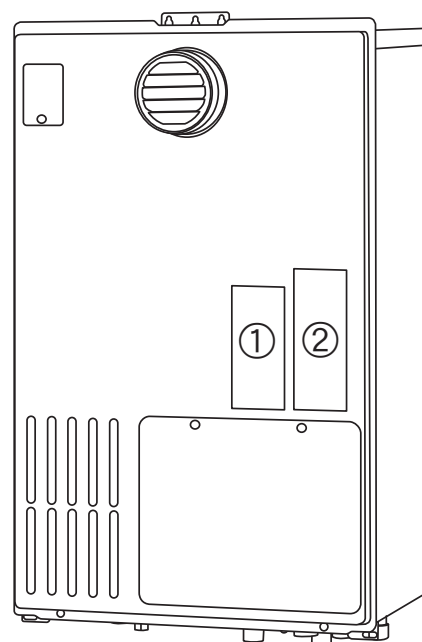
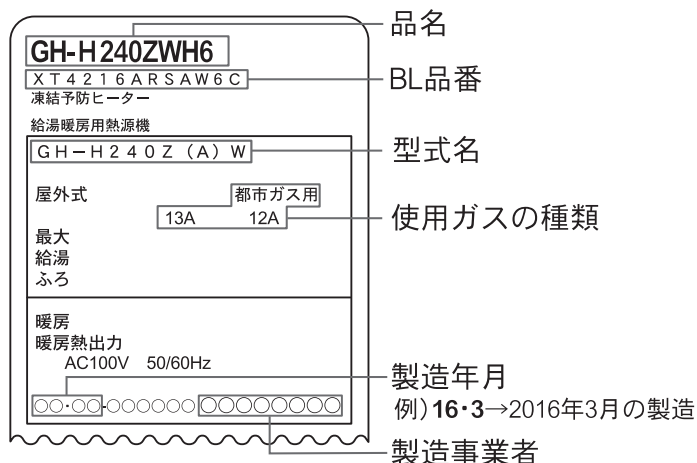
(→P.XX) 参照ページを示しています。

■機器本体の表示について

この製品は、製品シリーズ・製品タイプ(フルオートタイプ / オートタイプ)によって機能が異なります。以下の方法で、製品の品名および製品タイプをご確認のうえ、取扱説明書をご覧ください。

①銘板

品名・型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者等を表示しています。



(図はGH-H240ZWH6を示します)

②使用上の注意

使用上の注意について表示しています。



- 使用上の注意や銘板は製品により、貼り付けてある位置が異なる場合があります。
- 製品のタイプ(フルオートタイプ / オートタイプ)は表紙でご確認ください。

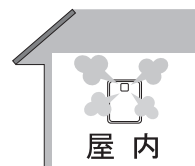
必ずお守りください(安全上のご注意)

安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記しています。この内容は必ずお読みください。

⚠ 危険

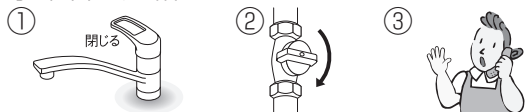
屋内に設置しない(この機器は屋外用です)

- 排気ガスが室内に充満したり正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因になります。



ガス漏れに気づいたときは

- ①すぐに使用をやめて、給湯栓をすべて閉める。
- ②ガス栓を閉める。また、メーターのガス栓も閉める。
- ③お買い上げの販売店、または最寄りのガス事業者に連絡する。



すべての処置が終わるまでの間、絶対に

- ・火をつけない
- ・電気器具のスイッチの入・切をしない
- ・電源プラグの抜き差しをしない
- ・周辺の電話を使用しない

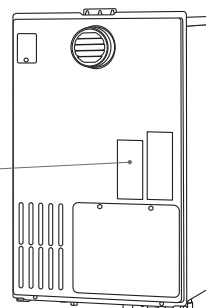
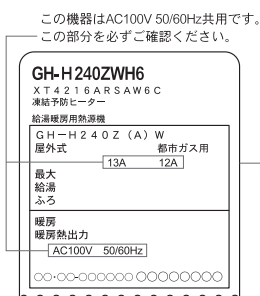
炎や火花で引火し、火災のおそれがあります。



⚠ 警告

機器の銘板を確認

- 機器の銘板に表示してあるガス種(ガスグループ)および電源(電圧・周波数)で機器を使用する。ガス種および電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、異常点火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。
- 転居時の注意は(→P.22)



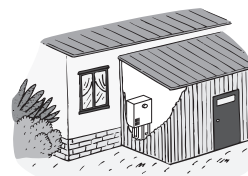
機器設置および付帯工事

- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口へ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。



増改築などで屋内状態にしない

- 設置後、機器や排気口を波板やビニール・塗装時に使用した養生シートなどで囲わない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



ガス接続について

- この機器のガス管の接続はねじ接続です。ガス配管接続工事には専門の資格・技術が必要です。機器の設置・移動・取り外しおよび付帯工事の際には必ずお買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口へご相談ください。



改造・分解禁止

- 絶対にお客さまご自身で、改造・分解・修理は行わない。改造・分解は、思わぬ事故や故障・火災の原因となります。

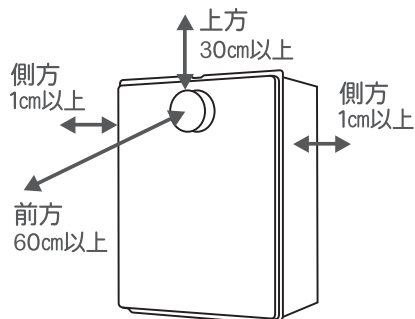


必ずお守りください

警告

火災予防のために必ず守ること

機器周辺のものとは常に図の離隔距離を確保する。



必ず行う

- 機器および排気口の周辺には紙や木材・洗濯物など、燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。
- 機器の周辺では灯油・ガソリン・ベンジンなど引火性危険物を使用しない。火災の原因となります。
- 機器の周辺や上にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベを置いたり、使用したりしない。熱で缶・ボンベの圧力が上がり爆発のおそれがあります。



禁止



禁止



禁止

給湯・シャワー使用時、入浴時の注意

- シャワーなどお湯を使う場合は、リモコンの表示温度をよく確かめ、手のひらで温度を確認して湯温が安定してから使用する。次のようなときは注意してください。

- ・お湯を再使用するとき
- ・給水温度が高いとき
- ・給水圧が下がったとき
- ・お湯の量を急に少なくしたとき
- ・機器が故障したとき



必ず行う

- 入浴するときは、手でお湯の温度を確認する。

- シャワー・給湯使用中に、使用者以外がリモコンの温度を変更したり、**運転**ボタンを「切」にしたり、「優先」を切り替えたりしない。
- 給湯使用時は出湯管(蛇口)に触らない。
- お風呂沸かし(沸かし直し)や追いだき時には、循環口付近は熱くなることがあるので触らない。
- 浴槽のふたの上に乗ったり手をついたりしない。



禁止



高温注意

怠ると思わぬ事故や、やけどのおそれがあります。

このような場合は使用しない

- 増改築や家屋の修繕時(特に外壁の塗装)には、シートで排気口を覆うことがあります。このような場合は機器を使用しない。不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になります。

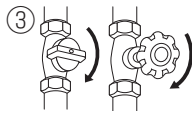
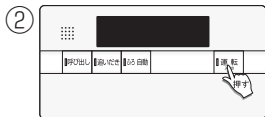


禁止

異常時の処置について

- 地震・火災などの緊急時の場合は、以下の手順に従う。

- ①給湯栓を閉める。
- ②リモコンの**運転**ボタンを「切」にする。
- ③ガス栓・給水元栓を閉める。



必ず行う

- 給湯栓を開けても点火しない場合や使用中で火が消える場合、または使用中に異常な燃焼や臭気・異常音・異常な温度を感じた場合。

- ①ただちに使用を中止してガス栓を閉める。
- ②お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口へ連絡する。



必ず行う

機器本体やガスの接続部などに乗らない

- けがや機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。



禁止

ソーラー機器接続禁止

- 弊社指定以外のソーラー機器とは絶対に接続しない。夏期にソーラーの水温が高くなるとお湯の温度制御ができなくなり、高温のお湯がそのまま出ます。やけどをしたり機器の故障原因になります。



禁止

必ずお守りください

警告

電源コードの加工禁止

- 電源コードを切断したり加工をしない。電源コードがコンセントに届く範囲としてください。感電や火災の原因になります。



禁止

許容電力以上の使用禁止

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。



禁止

電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く

- ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。



必ず行う

電源プラグを抜くときの注意

- コンセントから電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。コードを引っ張ると内部で断線して発熱や火災の原因になります。



必ず行う

電源プラグは確実に差し込む

- 電源プラグは根元まで完全に差し込む。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ、緩んだコンセントは使わないでください。



必ず行う

アース必要

- この機器は接地工事(アース)が必要なので、アースがされているか確認する。アースがされていない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



アースを必ず接続する

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

- ぬれた手で電源プラグを触らない。感電のおそれがあります。



ぬれ手禁止



感電注意

注意

用途についての注意

- 一般家庭での台所・シャワー・洗面などへの給湯、お風呂沸かし、暖房(乾燥)以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながる可能性があります。



禁止

機器本体でのやけどに注意

- 使用中または使用後しばらくは、排気口付近を触らない。やけどのおそれがあります。



接触禁止

配管カバー(または据置台)についての注意

- 配管カバー(または据置台)のフロントカバーを外した場合、作業終了後には必ず外したカバーを取り付け、化粧ねじを確実に締め付ける。(→P.18)



必ず行う

リモコンの扱いについて

- 浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけない。台所・増設リモコンは防水タイプではありませんので水をかけたり、炊飯器・電気ポットなどの蒸気を当てない。故障の原因になります。



禁止

空だき防止

- リモコンの追いだきボタンを押すときは、必ず浴槽の循環口上部より5cm以上湯(水)が入っていることを確かめる。水位が循環口より低いと、空だきによる機器の故障や浴槽の損傷などの原因となる場合があります。



必ず行う

お子さまには十分な注意を

- 浴槽の湯(水)に潜ったり浴室で遊ばせない。
 - 子供を機器の周囲や直下で遊ばせない。
- 思わぬ事故につながる可能性があります。特に小さなお子さまのいるご家庭では注意してください。



禁止

排気口についての注意

- 排気口に指や棒を入れない。故障やけがの原因になります。



禁止

ドレン排出口から排出される水について

- ドレン排出配管から排出される水を飲料用・飼育用などに使用したり、触ったりしない。ドレン水に触ってしまった場合は、念のため水道水で洗い流してください。



禁止

必ずお守りください

お願い

この機器は一般家庭用です

- 業務用のような使いかたをされると機器の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。浴槽についても、一般家庭用サイズをご使用ください。

入浴時の注意

- 循環口フィルターを外して、お子さまがオモチャなどを入れて遊ばないように注意してください。機器の故障の原因になります。
- 浴槽の循環口をタオルなどで塞がないでください。循環不良によりおふろ沸かしができなくなったり、機器の故障の原因になります。

入浴剤や洗剤についての注意

- 強酸・強アルカリの洗剤および、硫黄・酸を含んだ入浴剤は、機器の性能低下や熱交換器などが腐食する原因となりますので使用しないでください。入浴剤の含有成分などを確かめ、機器への悪影響がないものをご使用ください。
- ふろ用洗浄剤または乳白色や白濁する入浴剤のなかには、沈殿物が熱交換器にたまって異音を発生したり、循環口フィルターが詰まったり、追いだき配管内にたまって動作不良を起こすものがあります。沈殿物を生じないものでも熱交換器内で沸騰を起こし異音を発生することがあります。このような入浴剤はご使用を避けてください。
- 薬草やゆず入り入浴剤の場合は、薬草などが循環口フィルターや機器内部に詰まることがありますので、ご使用を避けてください。

市販の補助用具について

- 事故防止のため、この機器専用の付属品・別売品以外は使用しないでください。
- 市販品の湯冷め防止器などは使用しないでください。

リモコンの扱いについて

- リモコンはお子さまがいたずらしないよう注意してください。

電源プラグを抜かない

- お手入れや水抜き(凍結予防・長期不在時)を行うとき、または突発的な自然災害(雷など)以外は、電源プラグを抜かないでください。

飲用(調理用)にお使いのときは

- 機器内に長時間たまった水(たとえば朝一番の使い始めのぬるい湯が出るまで)は、飲用(調理用)には使用しないで雑用水としてお使いください。

通水使用の禁止

- リモコンの**運転**ボタンを「切」にした状態で、給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びないでください。機器内通水部分の結露により、機器の寿命を短くする原因になる場合があります。(冬期の凍結予防の場合を除く)

雷が発生しているときの注意

- 雷が鳴り始めたら速やかに運転を停止し、感電に注意して電源プラグをコンセントから抜いてください。
雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。



地下水や温泉水、井戸水では使用しない

- この機器は上水道用です。地下水・井戸水(簡易水道を含む)を使用されると、水質によっては機器内の配管内部に異物が付着したり短期間で銅管を腐食させるなど、耐久性を損なう場合や、機器が正しく作動しないことがあります。地下水・井戸水(簡易水道を含む)を使用する場合は施工前に十分水質※を確認してください。ただし、地下水・井戸水(簡易水道を含む)には様々な成分が溶け込んでいる為、機器に対する影響は正確に判断できませんので、保証期間内でも有料修理となります。

※飲料水適合していることを原則として、硬度60mg/ℓ以下・pH7～8・遊離炭酸4mg/ℓ以下が望ましい。

- 温泉水は使用しないでください。

停電時または電源プラグを抜いたとき

- この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
- 停電時は給湯栓を閉めてください。
- 通電復帰後は、リモコンの現在時刻設定を行い、給湯温度などの表示を確認してからご使用ください。
- 自動でおふろを沸かししているときに停電になると、ふろ自動運転が停止します。通電復帰後、リモコンの取扱説明書に記載の「おふろを沸かし直す」の操作を行ってください。
- 通電復帰後、自動でおふろ沸かしをするといつもよりお湯張り時間が長くなる場合があります。(フルオートタイプ)

必ずお守りください

お願い

ガス事故防止のために

- 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることをリモコンの燃焼表示で確認してください。

断水するとき

- 給湯栓を閉め、リモコンの**運転**ボタンを「切」にしてください。
- 断水から復帰後、使い始めのお湯は飲用や調理用などに使用しないでください。飲用や調理用に適さない水が、給湯配管内にとどまることがあります。

日常の点検・お手入れ

- 浴槽や洗面台が、水中の微量の銅イオンと脂肪分(湯アカ)により青く着色することがあります。日々、浴室や洗面台のお手入れをするとともに、万一着色した場合はクレンザーやアンモニア水(10%程度)などで拭き取ってください。
- この機器は熱効率が高いため機器の使用中はドレン水が排出されます。(→P.1) ドレン排出配管の先端からドレン水が排水されているか確認してください。ゴミなどで塞がれている場合は掃除を行ってください。

積雪時の閉塞^{へいそく}について

- 積雪時は給気口・排気口の点検、除雪を行い、積雪や屋根から落ちた雪により給気口・排気口が塞がれないように注意してください。故障の原因となります。

設置する場所や状況について

お願い

設置場所について

- 設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音(燃焼音・燃焼ファン・ポンプ回転音)で迷惑にならない場所に設置してください。(工事担当者にご相談ください)
- 足場などを組んだり、ハシゴ・脚立を使わなければメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。
- 塀などを増設する場合は、機器の点検・修理のためと燃焼不良の発生を防止するために空間を確保し、空気の流れが停滞しないようにしてください。

排気ガス

- 増改築によって、排気ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに、当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因になります。
- 排気口の周囲には、排気口からの排気ガスによって加熱されて困るもの(危険物・植物・ペットなど)を置かないでください。
- この機器は熱効率が高いため、排気口から白い湯気が出やすくなっています。これは水蒸気であり、故障ではありません。

給排気について

- 機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となります。

ほこり

- 砂・油煙・ペットの毛など、ほこりのたちやすい場所には設置しないでください。ほこりが給気口を塞いだり、燃焼ファンの性能を低下させ、不完全燃焼の原因となります。

塩害

- 海岸近くに設置するときは、潮風にさらされる場所を避けてください。機器が腐食し、故障の原因になります。

塩ビ管の使用について

- 給湯配管に塩ビ管を使わないでください。機器の使用直後に熱交換器の後沸きにより塩ビ管が破裂し、熱湯が噴き出したり、多量の水漏れの原因になります。(ただし、ドレン排出配管は除きます)

必ずお守りください

床暖房についての注意



やけどに注意

- 床暖房の上で長時間、座ったり寝そべったりしない。低温やけどを起こすおそれがあります。特に次のような方が使用の場合は、周りの人が注意してあげることが必要です。
 - ・乳幼児・お年寄り・病人など自分の意思で体を動かせない方
 - ・疲労の激しいときやお酒・睡眠薬を飲まれた方
 - ・皮膚や皮膚感覚の弱い方



火災予防

- 床暖房の上にスプレー缶・カセットコンロ用ボンベ・ライターなどを置かない。熱でスプレー缶などの圧力が上がり、スプレー缶などが爆発するおそれがあります。



床についての注意

床に水などをこぼさない

- 床面に水・薬品・しょうゆ・ペットの排泄物などがこぼれたら、速やかに拭き取ってください。常時水の飛び散る台所や洗面所周辺は、ぬれたまま長時間放置しないでください。床仕上げ材・床暖房パネルの変色、はがれ、劣化など、品質を損なう原因になります。



床暖房の上に、鋭利なもの(釘・画びょう・きり・ダニ防虫剤の注射針・はさみなど)を落としたり刺したりしない

- 水漏れの原因になります。



床暖房の上に、調度品・家具などを直接置かない

- 家具などに熱がこもって、ひずみなどが生じる原因になります。床面と家具などの間に空間を設けるようにし、熱がこもらないようにしてください。



重いものはそのまま置かない

- ピアノなど重量物にはパッドなどを敷いて一箇所に荷重がかからないよう設置してください。床が破損し、水漏れの原因になります。



キャスター付きの椅子や家具、車椅子を使用しない

- フローリング表面の傷やへこみ、はがれ、床鳴りなどの原因になります。



重量物を移動させるときは引きずらない

- 床仕上げ材表面の傷やへこみ、はがれの原因となります。椅子の脚など床に接触する部分には、フェルトなどをつけてください。



床暖房の上にエアコンやテレビなどのリモコンを長時間置かない

- リモコンの故障の原因となります。



床暖房は電気カーペットやこたつなどの併用はしない 敷物は敷かない

- 性能が発揮できなかったり、熱がこもって床仕上げ材の割れ・そり・すき間・変形・変色などの原因になります。



床暖房を他の目的に使用しない

- 特殊な用途(例えば衣類の乾燥や動物の飼育、植物の栽培、食品の保存など)には使わないでください。



床仕上げ材のお手入れは、床仕上げ材メーカーの取り扱い方法に従う 床仕上げ材の張替えは、床仕上げ材メーカーの指定工法で施工する

- 詳しくは床仕上げ材メーカーへお問い合わせください。



床下の防腐・防蟻処理時、床暖房や配管などに処理剤が付着しないよう注意する

- 床暖房が破損し、水漏れの原因になります。



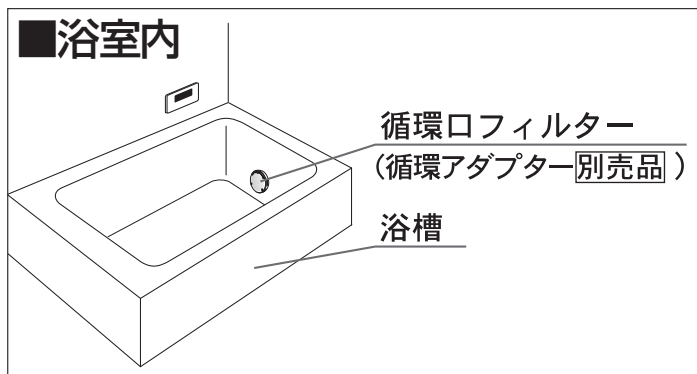
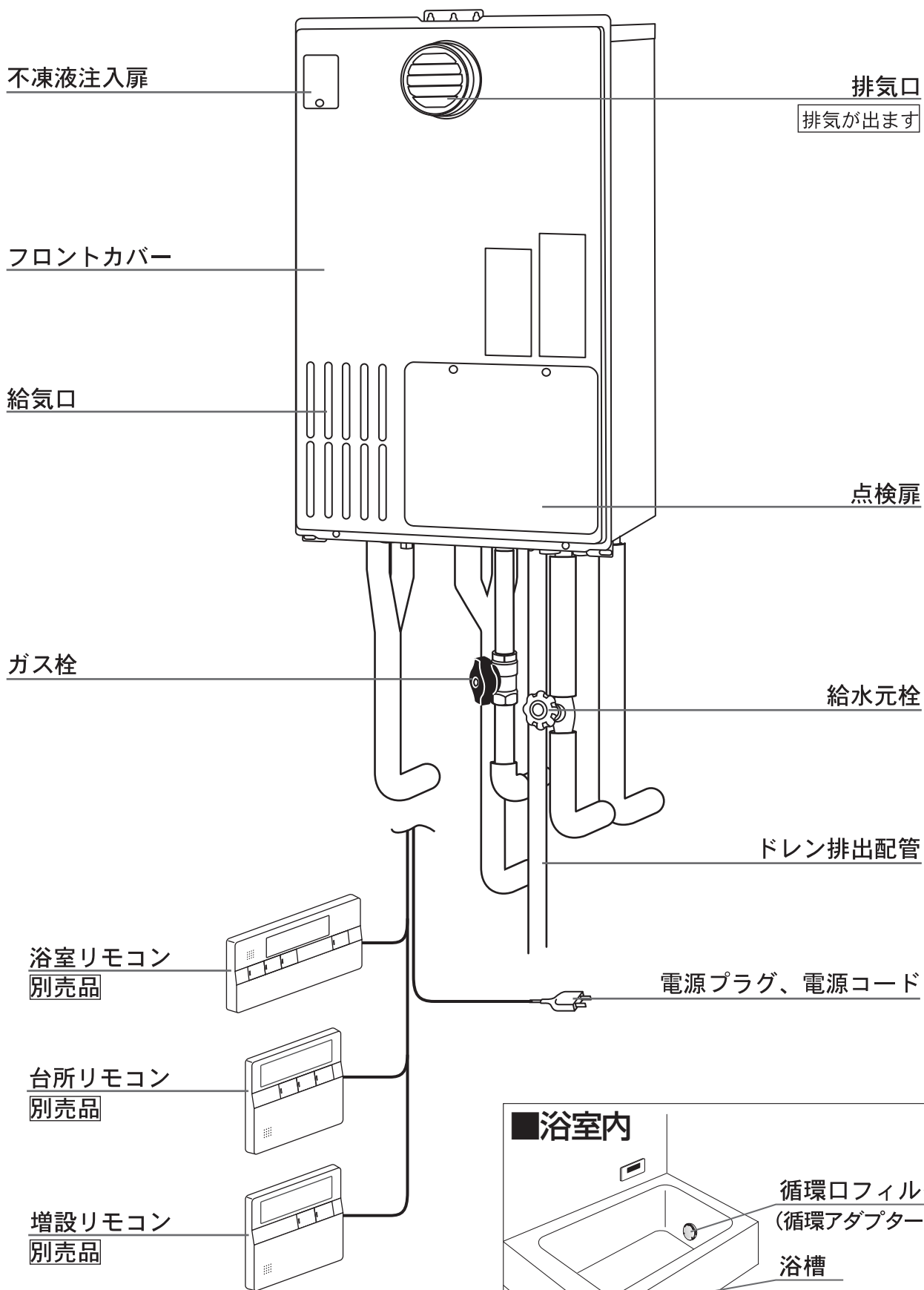
閉め切ったお部屋で長時間使用しない

- 閉め切った部屋で長時間使用すると、ごくまれに体調が悪くなる場合があります。窓を開けるなどして換気をしてください。これは、接着剤や床材に含まれるホルムアルデヒドが原因のひとつと考えられますが、床暖房以外の原因も考えられるため、工事業者にご相談ください。



各部の名称とはたらき

■機器本体（図はGH-H240ZWH6を示します）





ご利用前の準備

はじめてお使いになるときは、まず機器の準備をします。

■機器の準備

1

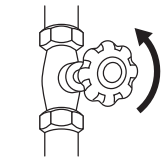
機器や機器周辺の点検・確認を行う

■点検のポイント(→P.16)をご覧ください。

2

給水元栓を全開にする

機器の下部にあります。



3

給湯栓を開ける

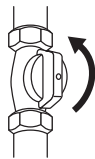
水が出ることを確認したら閉めます。



4

ガス栓を全開にする

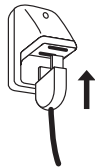
機器の下部にあります。



5

電源プラグをコンセントに差し込む

機器周辺にあります。



■工場出荷時の設定について

工場出荷時の設定は機器により違う場合があります。以下の表をご覧ください。機器をご利用ください。

タイプ	給湯温度	ふろ温度	ふろ水位	保温時間	ふろ待機設定	自動配管クリーン
フルオート	40℃	40℃	洋バス設定 6(36cm)	4時間	しない(ふろ優先)	する
オート	40℃	40℃	通常浴槽設定 6(180ℓ)	4時間	しない(ふろ優先)	——

※詳細はリモコンの取扱説明書をご覧ください。

ご利用の前に

冬期の凍結予防をするには

お願い

- 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがあります。以下をお読みいただき、必要な処置をしてください。怠ると機器内の水が凍って機器が破損することがあります。
- 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。

通常の寒さのとき

処置 1

外気温が -15°C を下回るとき
 -15°C より高くても風のある日

処置 2 または 3

長期間使用しないとき

処置 3

処置 1

凍結予防装置による方法

機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒータと浴槽の水(湯)を循環して、ふろ配管の凍結を予防する凍結予防装置がついています。

機器の電源プラグは、抜かない

電源プラグを抜いたり分電盤のブレーカーを切ると凍結予防装置がはたらきません。

- ◆凍結予防装置は、リモコンの**運転**ボタンの「入」/「切」に関係なく作動します。
- ◆配管は凍結することがあります。配管は必ず保温材を巻くなど、地域に応じた処置をしてください。

浴槽の水(湯)は循環口上部より5cm以上高い位置にする

浴槽の水(湯)を循環し、凍結予防をするため浴槽の残り湯は捨てずに、そのままにしておいてください。

- ◆浴槽の水(湯)を循環する凍結予防の動作中は、リモコンにを点滅表示または「凍結予防」を表示します。

台所リモコン表示例

AM 10:00 省電力 給湯 優先 40℃

2/12(木) 給湯 優先 AM 2:00 40℃
「凍結予防」

※リモコンの**運転**ボタン「切」や省電力待機中は表示をしません。

暖房回路の凍結予防のためにガス栓は開けておく

暖房回路は気温が下がってくると自動的に暖房運転(燃焼)し、暖房回路を温めて凍結予防をします。

- ◆機器および端末機器の電源プラグを抜いたり、分電盤のブレーカーを切らないでください。(端末機器の種類によっては凍結予防ができない場合があります)
- ◆暖房凍結予防の動作中、リモコンによっては「暖房凍結予防中」を表示します。
- ◆暖房回路の凍結予防には、不凍液を使用する方法もあります。(→P.14)

台所リモコン表示例

2/12(木) 給湯 優先 AM 2:00 40℃
「暖房凍結予防中」

お願い

- お使いになるときは、給湯栓を開けて水が出ることを確認してから、リモコンの**運転**ボタンを押して「入」にしてください。

冬期の凍結予防をするには

処置 2 給湯栓から水を流す方法

この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管やバルブ類および給湯栓の凍結予防に有効です。

1 リモコンの運転ボタンを「切」にする

必ず行います。

※リモコンの運転ランプが消灯していることを確認してください。

2 浴室の給湯栓を開け、1分間に400cc程度の水を流し続ける

流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後に流量を確認してください。

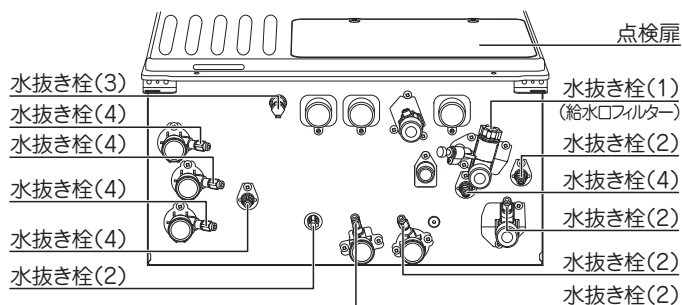
※サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合は最高温度側にします。



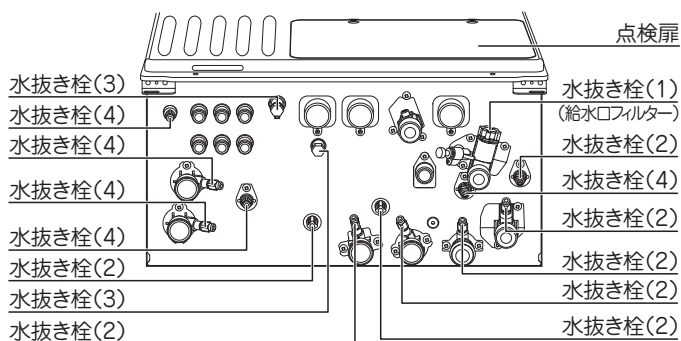
- 給湯栓から水を流す方法で凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防のために水を流していることをお知らせください。水を止めると凍結します。
- 通水使用の禁止として、リモコンの**運転**ボタンを切った状態で給湯栓を開けて水を出さないようお願いをしていますが、凍結予防の場合は問題ありません。(→P.6)
- サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓をご利用の場合は、再使用時の給湯温度設定にご注意ください。

□水抜き栓位置図

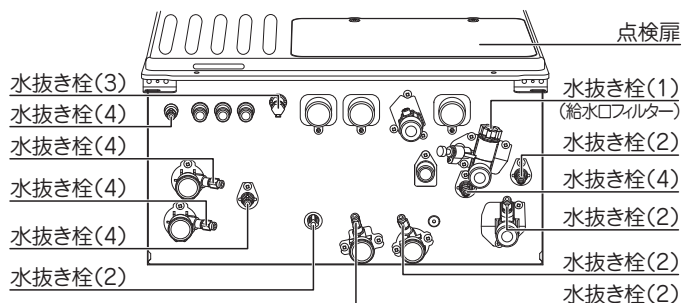
【GH-H240ZW / GH-H240AW】



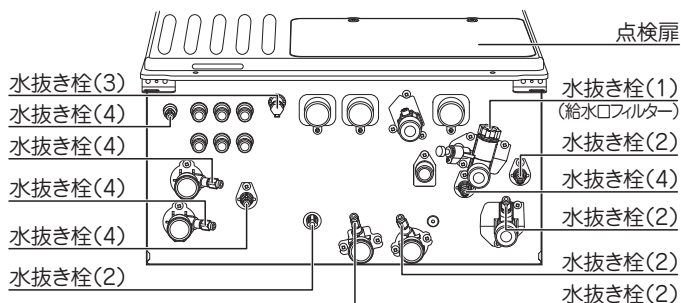
【GH-HD240 シリーズ】



【GH-H240ZWH3 / GH-H240AWH3 シリーズ】



【GH-H240ZWH6 / GH-H240AWH6 シリーズ】



長くお使いいただくために

冬期の凍結予防をするには



注意

- 使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。
- 配管カバー（または据置台）のフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したフロントカバーを確実に取り付ける。（→P.21）



処置 3

機器の水を抜く方法

入居前や長期不在で分電盤のブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排水し凍結予防をします。
排水後は、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

1 ガス栓と給水元栓を閉める

機器の下部にあります。

2 浴槽の水を完全に排水する

3 浴室リモコンの運転ボタンを「入」にし、追いだきボタンを5秒間押し続ける

※浴槽の水が排水されていないと浴室リモコンに「032」が点滅します。
再度、浴槽の水が排水されているか確認してください。

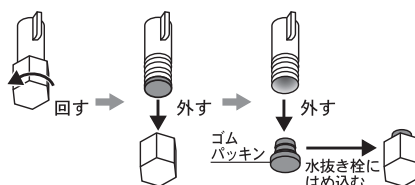
4 すべての給湯栓を全開にする

※給水元栓を閉めているため、給湯栓を開いてもほとんど水は出ません。水が出続ける場合は、再度給水元栓が閉められているか確認してください。

5 水抜き栓(1)(2)(3)を外す

水抜き栓(3)の外しかた

水抜き栓(3)は中のゴムパッキンを外して、紛失防止のため水抜き栓にはめ込みます。



※水抜き栓の位置は、□水抜き栓位置図（→P.12）をご覧ください。

6 暖房回路の水を抜く前に、不凍液注入の確認をする

【不凍液が入っている場合】

7 8 の操作を行う

【不凍液が入っていない場合】

水抜き栓(4)を外す

※不凍液注入の有無は、機器フロントカバー貼付のラベルで確認します。

※水抜き栓の位置は、□水抜き栓位置図（→P.12）をご覧ください。

7 必ず電源プラグを抜く

コンセントは機器の周辺にあります。
電源プラグを抜き忘れると機器の故障の原因となります。

8 水抜き栓からの排水を確認し、すべての水抜き栓を元に戻す

お願い

- 水抜きをした後は浴槽へ水を流してこまないでください。再び使用するまでそのままにしておいてください。
- 暖房回路の水抜きを行った場合は、再び使用するときに水張り作業が必要です。お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口へご連絡ください。
- 水抜きの操作をすると、機器本体だけでなく配管や端末機器内の水も出てきます。水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

冬期の凍結予防をするには

■不凍液による方法

- 寒冷地では指定された不凍液を使用してください。指定以外の不凍液は機器に悪影響を与える場合がありますのでご注意ください。
- 不凍液は経年劣化しますので毎シーズン初めにお買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口にて点検を依頼してください。(有料)
- 不凍液の性能が低下している場合は交換(有料)が必要です。性能が低下したまま使い続けると、凍結・破損・腐食の原因になります。

■再使用するとき

水抜き後、再度使用するときは次の操作をしてください。

 注意	●配管カバー(または据置台)のフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したフロントカバーを確実に取り付ける。(→P.18)	 必ず行う
--	--	--

- 1** すべての水抜き栓およびすべての給湯栓が閉めてあることを確認する
※水抜き栓の位置は、□水抜き栓位置図(→P.12)をご覧ください。
- 2** 給水元栓を全開にする
給水元栓は機器の下部にあります。
- 3** 機器や配管より水漏れがないか確認する
また、すべての給湯栓を開け、水が出ることを確認したら給湯栓を閉める
- 4** ガス栓を全開にし、電源プラグを差し込む
ガス栓は機器の下部にあります。
コンセントは機器の周辺にあります。
- 5** リモコンの運転ボタンを「入」にし、現在時刻を設定する
リモコンの種類によっては、年・月・日の設定も必要です。
リモコンの取扱説明書で確認してください。
- 6** 給湯栓を開け、お湯が出ることを確認する
- 7** ふろ自動運転を行い、循環口からお湯が出ることを確認する
※しばらく(1分程度)しても循環口からお湯が出ない場合は、ふろ自動運転を中止してください。

通水後初めての給湯・暖房・ふろ使用で、リモコンにアラーム番号“173”“543”が出る場合
端末機器側の運転とリモコンの運転ボタンを一旦「切」にし、機器の給水元栓が開いていること・すべての暖房水抜き栓が閉まっていることを確認し、電源プラグの抜き差しをしてから再使用してください。
それでもアラームが出る場合は、お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口へご連絡ください。

お願い

- 再使用するときは、すべての水抜き栓が確実に閉めてあることを確認してください。閉めかたが不十分だったり閉め忘れたりすると、そこから水漏れします。

長くお使いいただくために

冬期の凍結予防をするには

■凍結してしまったとき

凍結したときは給湯栓を開けても水は出てきません。凍結したままでは絶対に使用しないでください。解凍するまで待って、次の操作により水が出ることを確認してから運転してください。

 注意	●凍結による水漏れに気づいたときは、速やかに給水元栓を閉め、機器の使用を中止する。床や壁などをぬらして生じる損害は、お客さまの責任となります。 ●配管カバー（または据置台）のフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したフロントカバーを確実に取り付ける。（→P.18）	 必ず行う
---	--	---

1 ガス栓および給水元栓を閉める

機器の下部にあります。

※給水元栓を閉めるのは、配管が破損していた場合の水漏れを防ぐためです。

2 リモコンの運転ボタンを「切」にする

※リモコンの運転ランプが消灯していることを確認してください。

3 ときどき給水元栓を開けて、給湯栓から水が出ることを確認する

給水元栓は機器の下部にあります。水が出てくれば使用できます。

4 給水元栓を全開にし、ガス栓を全開にする

必ず、機器および配管から水漏れがないことを確認します。

5 リモコンの運転ボタンを「入」にする

6 給湯栓を開け、お湯が出ることを確認する

7 ふろ自動運転を行い、機器の水漏れがないことを確認する また、循環口からお湯が出ることも確認する

※しばらく(1分程度)しても循環口からお湯が出ない場合は、ふろ自動運転を中止してください。

お願い

- 給水・給湯配管が凍結すると配管や給湯栓が破損することがあります。解凍後は、全ての給湯栓を閉めてから水道メーターを見るなど水漏れしていないことをご確認ください。



点検のポイント・お手入れのしかた

 警告	●フロントカバーを外したり、リモコンを分解したりしない。	 分解禁止
 注意	●台所・増設リモコンは防水タイプではないので、水をかけない。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因となります。また、浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。 ●リモコンのお手入れには、シンナー・アセトン・ベンジンなどの有機溶剤や洗剤(塩素系洗剤・酸性洗剤・アルカリ性洗剤)、みがき粉(研磨剤の入った洗剤)を使用しない。リモコン本体が変色や変形することがあります。	 禁止
	●機器本体のお手入れは、ガス栓を閉め、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行う。また、けがなどしないように、手袋などを着用し十分注意してください。	 必ず行う

■点検のポイント(月1回程度)

次の6つのポイントで点検してください。

1. 機器および配管から水漏れはありませんか？
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。
2. 機器および配管からガスの臭いがしませんか？
3. 運転中に機器から異常音が聞こえませんか？
4. 機器の外観に異常な変色は見られませんか？
5. 機器のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありませんか？
また、整然とされていますか？



機器のまわりに雑草や木くず・箱などで雑然としていると、機器の内部に害虫(ゴキブリなど)が侵入したり、くもの巣がはったりして、機器の故障などの原因になる場合があります。

6. 浴槽に循環口フィルターがついていますか？

長年ご使用の場合、こんな症状が出ていませんか？

毎日、普通に使用している給湯器も5年、10年と長期間のご使用により、ちり・ほこりや羽虫などが少しずつ内部部品に詰まり、初期性能を発揮できなかったり、さまざまな不具合を生じることがあります。今お使いの機器を安全にご使用いただくために、状態を確認して次のような症状がみられる場合は使用を中止し、お買い上げの販売店、または弊社窓口へご相談ください。

- ①最近、シャワーなどお湯の温度がいつもよりぬるくなったと感じた。
- ②高温にセットしても、高温のお湯が出ない。
※常に40℃前後でご使用のお客さまは、月に1回程度高温にセットして、高温のお湯が出ることを確認してください。
- ③お湯が熱くなったり、ぬるくなったりする。
- ④給湯器の排気口から煙が出ていたり、変なにおいがする。
- ⑤給湯器の排気口の周りが黒くなっている。

■お手入れのしかた(月1回程度)

機器本体およびリモコンのお手入れ

- 汚れは、湿ったやわらかい布で軽く拭き取ってください。
- 洗剤およびシンナー・ベンジンなどは、使わないでください。
変色・変形する場合があります。



お願い

- 安全にお使いいただくために、点検・お手入れは月1回程度必ず行ってください。
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター(金網)を掃除してください。
- 水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときご家庭で修理せず、お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口へご連絡ください。

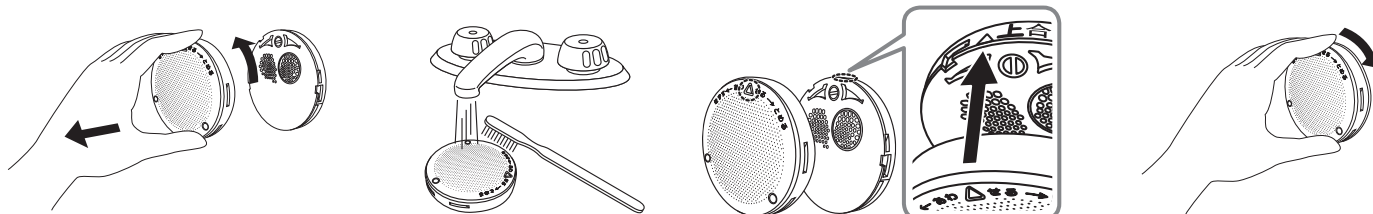
長くお使いいただくために

点検のポイント・お手入れのしかた

■循環口フィルターの掃除(こまめに掃除)

浴槽をお掃除するときは循環口フィルターも掃除してください。循環口フィルターには、湯アカや毛、タオルのくすなどが意外と多くたまるものです。循環口フィルターが詰まると、お湯張りができなくなったり、追いだきができなくなる場合があります。

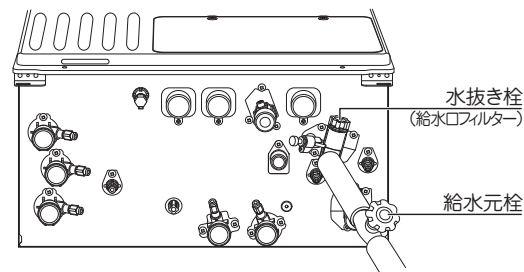
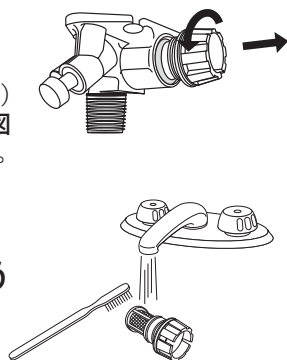
- 1 左に回して
手前に引きます。
- 2 歯ブラシなど
で洗います。
- 3 △の印を合わせ
はめます
- 4 右に回して
止めます



■給水口フィルターの掃除

給水口フィルターが詰まるとお湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合があります。次の要領で給水口フィルターを掃除してください。

- 1 給水元栓を閉める
給湯栓を開けて閉める
- 2 水抜き栓を外す
※水抜き栓(給水口フィルター)
の位置は、水抜き栓位置図
(→P.12)をご覧ください。
- 3 歯ブラシなどで洗う
- 4 水抜き栓を元に戻す
※水抜き栓(給水口フィルター)
の位置は、水抜き栓位置図
(→P.12)をご覧ください。
- 5 給水元栓を全開にする



(図はGH-H240ZWを示します)

■定期点検のおすすめ(有料)

- 機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度点検を受けることをおすすめします。なお、給水用具(逆流防止装置)に関しては、4～6年に1回程度の点検をおすすめします。点検はお買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口へご相談ください。

お願い

- 循環口フィルターは必ず取り付けてご使用ください。循環口フィルターを付けないでふろ運転をすると、ポンプなどの故障の原因となります。
- 給水口フィルターを外すと水が出ます。水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。
- 再使用するときは、水抜き栓を元どおりに確実に閉めてください。閉めかたが不十分だったり閉め忘れたりすると、そこから水漏れします。
- 別売のユニットを取付けている場合、ユニットに付属の取扱説明書も併せてご覧ください。



点検のポイント・お手入れのしかた

■点検・お手入れ後の確認

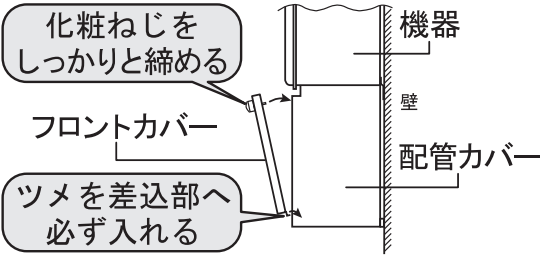
点検・お手入れ後はガス栓を開いて、運転ボタンを「入」にしてから給湯栓を開き、機器が正常に作動していることを確認してください。万一、異常な燃焼・臭気・音を感じられたときは使用を中止し、ガス栓を閉じてお買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口へご連絡ください。

配管カバー（または据置台）のフロントカバーについて

配管カバー（または据置台）のフロントカバーを外した場合、作業終了後には必ず外したフロントカバーを元のとおり取り付けてください。

- ①フロントカバー下部のツメを差込部へしっかり差し込み、外れないことを確認。
- ②化粧ねじを緩みがないように確実に締める。

※特に強風が予測される場合は、化粧ねじの緩みがないか点検をしてください。



故障かな?と思ったら

給湯栓やシャワーから出るお湯	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
給湯栓を絞らずで水になった	給湯栓から出るお湯の量をかなり少なくすると、機器が燃焼を止め、水になります。給湯栓をもっと開いてください。
給湯栓を開けてもお湯が出ない	ガス栓・給水元栓が全開になっていますか。(→P.10) 断水していませんか。断水中は機器を使用できません。(→P.7) 給湯栓が十分に開いていますか。少ないとお湯にならない場合があります。 給水口フィルターが詰まっていますか。給水口フィルターの掃除をしてください。(→P.17) ガスメーター(マイコンメーター)がガスを遮断していませんか。 LPガスの場合、ガスがなくなっていますか。 リモコンの運転ボタンが「入」になっていますか。 機器の電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。(→P.10)
給湯栓を開けてもすぐにお湯が出てこない	機器から給湯栓まで距離がありますので、お湯が出てくるまでには少し時間がかかります。
低温のお湯が出ない 高温のお湯が出ない	ガス栓が全開になっていますか。(→P.10) 給水元栓が全開になっていますか。(→P.10) 給湯温度の設定は適切ですか。 夏場など、水温が高いときに低温のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。 少量のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。 「ふる自動」や「たし湯」中にお湯を使用すると給湯温度の表示はそのまま、ふる温度のお湯が出ます。ふる自動やたし湯が終了しても、出湯中のお湯の温度はふる温度のままで給湯温度に戻りません。一旦お湯を止めてから再度給湯栓を開いてください。 ※ふる自動やたし湯を一時中断して、給湯温度のまま出湯させる設定もあります。
給湯温度の変更ができない	操作しているリモコンの画面に優先が表示されていますか。
給湯栓から出るお湯の量が少ない 給湯栓から出るお湯の量が変化する	機器から一度に出るお湯の量には限りがあります。同時に複数の給湯栓からお湯を出したり、「ふる自動」や「たし湯」運転をするとお湯の量が減る場合があります。 湯温を安定させるために自動的に湯量を調整しています。すぐに湯量は安定します。 給湯栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、出湯量が変わるものがあります。
お湯が白く濁って見える	水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。汚濁とは違って、まったく無害なもので、異常ではありません。

長くお使いいただくために



故障かな?と思ったら

お風呂	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
お風呂の温度が熱い	ふろ温度の設定は適切ですか。
お風呂の温度がぬるい	循環口フィルターが詰まっていますか。循環口フィルターの掃除をしてください。(→P.17)
お風呂のお湯が少ない(多い)	ふろ水位の設定は適切ですか。 循環口フィルターが詰まっていますか。循環口フィルターの掃除をしてください。(→P.17) 残り湯がある状態で「ふろ自動」を行うと、水位が高くなる場合があります。 【フルオートタイプの場合】設定した水位にならない場合は、リモコンの取扱説明書をご覧ください。 になり、ふろ水位のリセットを行ってください。
「ふろ自動」の初めにお湯張りがと きどき停止する	正確にお湯張りを行うため、浴槽の残り湯を確認するための動作です。異常ではありません。
お風呂を使用していないのに循環 口からお湯(水)が出る	【フルオートタイプの場合】浴槽のお湯を排水した後、ふろ配管内の残り湯を流し出す 機能がはたらくと、循環口からお湯(水)が出ます。異常ではありません。 お湯を使用すると機器内が温まり、ふろ配管に残っている水が循環口から出る場合があります。 凍結予防のためにポンプが回ったとき、ふろ配管に残ってる水が循環口から出る場合があります。
自動配管クリーンが途中で止まる	自動配管クリーン動作中に給湯・シャワーを使用すると、自動配管クリーンは終了しま す。異常ではありません。
追いだきができない	循環口フィルターが詰まっていますか。循環口フィルターの掃除をしてください。(→P.17)
追いだきが停止する	循環口上部より5cm以上お湯(水)が入っていますか。足りない場合はお湯(水)を足し てください。
お風呂の沸き上がりがいつもより 時間がかかる	ふろ待機設定を「する」(給湯優先)に設定した場合、「ふろ自動」と給湯を同時に行うと、 給湯使用中の間はお風呂のお湯張りが一時中断します。給湯を止めるとお湯張りを再 開します。そのためお風呂の沸き上がりにかかる時間がいつもより長くなります。 給湯・暖房・お風呂沸かしを同時に行うと一時的に能力が下がり、沸き上がりまでに時 間がかかる場合があります。

機器	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
排気口から白い湯気が出る	冬場など外気温が低いときには、排気ガスが外気に触れると結露し、白い湯気に見えます。 異常ではありません。この機器は熱効率が高いため、白い湯気が出やすくなっています。 機器を使用していない場合でも、暖房回路の凍結予防時には白い湯気が出ます。
給湯使用中や給湯終了後しばらく の間コトコトと音がする	お湯の温度を安定させるためにモーターを動かしているときに発生している音で、故 障ではありません。
出湯停止後しばらくファンの回転音 がする	再使用時の点火をより早くするため、しばらくの間は回転しています。
「ふろ自動」保温中にときどきポン プが回る	浴槽のお湯の温度を検知するため、およそ15～30分間隔で回ります。
運転終了後もしばらく音がする	すべての運転終了後、ポンプがしばらく回ります。
冬場など気温が低いとき追いだき と暖房のポンプが自動的に動く	凍結予防のため、ポンプが自動運転を行っています。
ドレンポンプがときどき自動的に回 り、浴室で水のはねる音がする (ドレンアップ方式機器)	ドレン水を排出する機能が動作しているためで、故障ではありません。 ・熱効率が高いためドレン水が出ます。(約500ccで一日に2～3回出ますが季節や 使用条件によって排出量はかわることがあります) ・浴室内でドレン水を排出している場合があります。
ときどき水抜き栓から水が出る	水抜き栓がしっかり閉まっていないと水漏れします。 給湯側の水抜き栓は過圧防止安全装置をかねていますので、圧力を逃すために湯(水) が出る場合があります。
雷が鳴ったあと機器が作動しない	落雷の際に、機器内の漏電安全装置が作動したことが考えられます。この場合は電源 プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。それでも使用できな いときはお買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。



故障かな?と思ったら

リモコン	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
運転ボタンを押しても「入」にならない	停電していませんか。(→P.6) 電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。(→P.10)
リモコンの画面表示がいつのまにか消えている	お湯を使わないまま、またはリモコンの操作をしないまま5分以上たつと、画面表示が消えます。(省電力待機中)
リモコンの時刻表示が「--:--」になっている	停電や電源プラグを抜いた後、通電復帰後の時刻表示は「--:--」になります。リモコンの取扱説明書をご覧ください
音声が出ない	音量の設定が無音や無音声になっていませんか。リモコンの取扱説明書をご覧ください、設定を確認してください。
音が小さい	音量の設定は適切ですか。
音がこもる	スピーカー部分に湯(水)がかかっていますか。
画面に  が点滅している	凍結予防のためポンプが作動しているとき、リモコンの画面に表示します。(→P.11)
突然音が鳴る	目標警告音を鳴らす/[あり]に設定していると、エネルギー計測開始1週間以上経過した時点で、突然リモコンから音が出る場合があります。 この音はエネルギーの目標警告音です。自動または任意で設定された目標を超えてしまうと、音でお知らせします。詳しくはリモコンの取扱説明書をご覧ください。

暖房	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
床暖房の温度が低くなったり、浴室暖房乾燥機の温風温度が低下する	給湯・暖房・お風呂沸かしを同時に行うと一時的に能力が下がり、床暖房の温度や浴室暖房乾燥機の温風温度が、低くなる場合があります。
床面がなかなかあたたまらない	床仕上げ材の種類・外気温度・住宅構造などにより床暖房があたたまるまでの時間は異なります。 床暖房の温度設定は適切ですか。 暖房・給湯・お風呂沸かしを同時に行うと能力が下がり、床がなかなかあたたまらない場合があります。
床暖房を使用していないのに床があたたまる	暖房回路内にたまった空気を抜くためと暖房ポンプの固着を防止するために、約1か月ごとにポンプが作動します。このときに他の暖房端末機器(浴室暖房など)を使用していると、床の温度が一時的に若干上昇する可能性があります。

その他	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
浴槽・洗面台が青く見える	湯あかが残っていると、水中の微量の銅イオンと化合して青く変色することがありますが、健康上問題はありませぬ。浴室や洗面台の掃除をこまめに行うことで着色しにくくなります。

長くお使いいただくために



故障かな?と思ったら

■アラーム表示について(リモコンに表示されます)

機器に不具合が生じると、その原因をリモコンにアラーム番号で表示または点滅してお知らせします。

〔浴室リモコン〕

アラーム番号によっては、給湯やふろ温度表示部に補足の番号が出ることがあります。
ご連絡の際は、アラーム番号と併せてお知らせください。



〔台所/増設リモコン〕

簡易表示のため、アラーム番号のみを点滅表示します。



お客さまで対処が可能なもの		
アラーム番号	原因	処置
011	給湯を60分以上連続で使用した	給湯栓を閉める。 運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。
032	浴槽の排水栓閉め忘れ (全自動タイプの場合)	浴槽の排水栓を閉める。 運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。
	水抜き操作時の浴槽排水忘れ	浴槽の湯(水)を排水する。 運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。
111 ^{*1}	給湯側の点火不良	ガス栓が全開になっていることを確認する。 運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。
113 ^{*2}	暖房・追いだき側の点火不良	※1 アラーム番号111・121が表示されたときは、給湯栓を閉めることによりアラームが解除される場合があります。 ※2 アラーム番号113・123が表示されたときは、すべての暖房端末機器の運転スイッチの「入」/「切」も行ってください。
121 ^{*1}	給湯側失火	
123 ^{*2}	暖房・追いだき側失火	
252	浴槽の排水栓閉め忘れ	浴槽の排水栓を閉める。 運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。
	追いだき時に浴槽のお湯(水)が足りない	運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。 循環口の上部より5cm以上お湯(水)を入れてから追いだきする。
	循環口フィルター詰まり	循環口フィルターを掃除し、正しく取り付け。 運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。
	ふろ自動ボタンと追いだきボタンを押し間違えた	運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。 ふろ自動ボタンを「入」にする。
562	注湯・注水ができない	断水でないこと、または給水元栓が全開になっていることを確認する。 運転ボタンを「切」にし、5秒以上経過後「入」にする。

◇処置をしてもなお、アラームが表示されるとき、上記以外のアラームが表示されたとき、その他わからないときは、お買い上げの販売店、または弊社窓口までお問い合わせください。

以下の場合には、お買い上げの販売店、または弊社窓口までご連絡ください											
アラーム番号		原因			状態						
100		燃焼に異常が生じた			良好な燃焼を維持できず能力を低下しました。 機器は使用できますが、安全のため修理を依頼してください。 そのまま使用すると“990”となり、機器の使用ができなくなります。						
290		中和器の詰まり			修理を依頼してください。						
888		点検時期			一般的な使用で10年相当使用したので、点検お知らせ機能がはたらきました。 点検(有料)を依頼してください。						
920		中和器異常			機器はしばらく使用できます(アラームは消えません)が、中和器の交換が必要なため、早めに修理を依頼してください。						
930		中和器寿命			機器の使用はできません。中和器の交換が必要なため、修理を依頼してください。						
990		燃焼に異常が生じた			機器の使用はできません。修理を依頼してください。						
その他のアラーム											
002	030	140	170	173	300	302	311	312	313	321	
322	323	331	343	390	422	432	433	440	510	513	
542	543	610	623	632	640	651	660	700	710	711	
720	740	750	760	763	900	903					

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」(→P.18～21)をご確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合にはご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口へご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
 - (1) お名前・ご住所・電話番号・道順(付近の目印等)
 - (2) 品名・ガスの種類
機器の銘板をご覧ください。(→P.2)
 - (3) 現象
故障または異常内容、アラーム番号などできるだけ詳しく。
 - (4) 訪問ご希望日

保証について

- この給湯暖房用熱源機には保証書が付いています。必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されますと、保証期間内であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は製造打ち切り後10年です。

BL 認定品について

- BL 認定品には、機器の前面にBL マークの表示があります。
- BL 認定品は、「瑕疵保証」と「損害賠償」のBL 保険付きです。

※BL 認定品についてのお問い合わせは一般財団法人ベターリビング TEL:03-5211-0680(お客様相談室)までご連絡ください。

転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が、異なる地域へ転居される場合は、調整・改造の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社へご相談ください。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口へご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

アフターサービス等についてわからないとき

- お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口へお問い合わせください。

長期間使用しない場合

- 長時間使用しない場合は次の操作をしてください。
※機器の故障や凍結および万が一のガス漏れを防止するため。
 - (1) ガス栓を閉めます。
 - (2) 給水元栓を閉めます。
 - (3) 機器の水抜きを行います。(→P.13)
 - (4) 電源プラグを抜きます。

仕様一覧

仕様表

項 目		内 容					
品 名		GH-H240ZW	GH-H240ZYH6	GH-H240ZTH6	GH-H240ZBH6	GH-H240ZUH6	GH-H240ZTFH6
		GH-H240ZWH6	GH-H240ZYH3	GH-H240ZTH3	GH-H240ZBH3	GH-H240ZUH3	GH-H240ZTFH3
		GH-H240ZW H3					
		GH-H240AW	GH-H240AYH6	GH-H240ATH6	GH-H240ABH6	GH-H240AUH6	GH-H240ATFH6
		GH-H240AW H6	GH-H240AYH3	GH-H240ATH3	GH-H240ABH3	GH-H240AUH3	GH-H240ATFH3
		GH-H240AW H3					
型 式 名		GH-H240Z(A)W	GH-H240Z(A)Y	GH-H240Z(A)T	GH-H240Z(A)B	GH-H240Z(A)U	GH-H240Z(A)TF
外 形 寸 法(mm)		幅480×奥行250×高さ750					
質 量(kg)		42	43	42	43	42	
種 類	給 湯 方 式	先止め式					
	暖 房 方 式	温水循環方式					
類	給 排 気 方 式	屋外強制排気方式					強制給排気方式
	設 置 方 式	屋外壁掛設置形 PS 標準設置形	PS アルコーブ 設置形	PS 扉内設置形 (前方排気延長)	PS 扉内設置形 (後方排気延長)	PS 扉内設置形 (上方排気延長)	PS 扉内設置形 (屋外給排気延長)
点 火 方 式		ダイレクト着火					
水 圧	使 用 水 圧	100～750kPa(1.0～7.5kgf/㎠)					
	最低作動水圧	10kPa(0.1kgf/㎠)					
	給 湯	1.9ℓ / 分					
	暖 房	0ℓ / 分以上(締切り使用可)					
最低作動水量	ふ ろ	3.8ℓ / 分					
	ガ ス	20A(R3/4オネジ)					
	給 水・給 湯	20A(R3/4オネジ)					
	暖 房	W：CCHMジョイント WH6,YH6,TH6,BH6,UH6,TFH6：CHMジョイント(6P) WH3,YH3,TH3,BH3,UH3,TFH3：CHMジョイント(3P)					
続	高 温 往 き	CCHMジョイント					
	戻 り	CCHMジョイント					
	ふ ろ	CCHMジョイント					
	ド レ ン	15A(R1/2オネジ)					
電 気 関 係	電 源	本体電源 AC100V(50/60Hz)					
	リ モ コ ン 側	DC24V以下					
	消 待 機 時	1.5W(浴室・台所リモコン取付時)					
	同 時 使 用	280W					
係	凍結予防作動時	330W					
	リモコンコード	浴室リモコン2心、台所リモコン2心					
安 全 装 置		立消え安全装置(フレームロッド) 空だき安全装置(バイメタル式) 空だき防止装置(水量センサ・水流スイッチ・水位電極) 過熱防止装置(温度ヒューズ) 過電流防止装置(電流ヒューズ) 過圧防止安全装置(スプリング式)			ファン回転検出装置(燃焼ファン) 誘導雷保護装置(サージアブソーバ) 漏電安全装置(漏電リレー) 沸騰防止装置(出湯温サーミスタ) 凍結予防装置(凍結予防ヒータ・ポンプ運転)		

能力表 ※LP ガス仕様はGH-H240Z(A)Wに対応。

使用ガス 使用ガスグループ		1時間あたりのガス消費量 kW {kcal/h}				出湯能力(最大)ℓ/分		能力kW {kcal/h}		ガス 接続
		給湯・暖房 同時使用	給湯(最大)	ふろ	暖房	水温+ 25℃上昇	水温+ 40℃上昇	追いだき	暖房	
都市 ガス	13A	58.1{50,000}	44.2{38,000}	16.1{13,800}	16.1{13,800}	24.0	15.0	9.88{8,500}	14.0{12,000}	20A (R3/4)
	12A	54.1{46,500}	41.2{35,400}	15.0{12,900}	15.0{12,900}	22.4	14.0	9.88{8,500}	13.0{11,200}	
LP ガス		58.1{4.15kg/h}	44.2{3.16kg/h}	16.1{1.15kg/h}	16.1{1.15kg/h}	24.0	15.0	9.99{8,500}	14.0{12,000}	

◎ガス：JISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。
◎出湯能力は、水圧200kPa{2kgf/cm²}のときで、温度を高めに設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。
◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

仕様一覧

仕様表

項 目		内 容					
品 名		GH-HD240ZWH6	GH-HD240ZYH6	GH-HD240ZTH6	GH-HD240ZBH6	GH-HD240ZUH6	GH-HD240ZTFH6
		GH-HD240AWH6	GH-HD240AYH6	GH-HD240ATH6	GH-HD240ABH6	GH-HD240AUH6	GH-HD240ATFH6
型 式 名		GH-HD240Z(A)W	GH-HD240Z(A)Y	GH-HD240Z(A)T	GH-HD240Z(A)B	GH-HD240Z(A)U	GH-HD240Z(A)TF
外 形 寸 法(mm)		幅480×奥行250×高さ750					
質 量(kg)		44	45	44	45	44	
種 類	給 湯 方 式	先止め式					
	暖 房 方 式	温水循環方式					
類	給 排 気 方 式	屋外強制排気方式					強制給排気方式
	設 置 方 式	屋外壁掛設置形 PS 標準設置形	PS アルコーブ 設置形	PS 扉内設置形 (前方排気延長)	PS 扉内設置形 (後方排気延長)	PS 扉内設置形 (上方排気延長)	PS 扉内設置形 (屋外給排気延長)
点 火 方 式		ダイレクト着火					
水 使 用 水 圧		100～750kPa(1.0～7.5kgf/㎠)					
	最低作動水圧	10kPa(0.1kgf/㎠)					
最低作動水量	給 湯	1.9ℓ / 分					
	暖 房	0ℓ / 分以上(締切り使用可)					
接 続	ふ ろ	3.8ℓ / 分					
	ガ ス	20A(R3/4オネジ)					
接 続	給 水・給 湯	20A(R3/4オネジ)					
	暖 房	CHMジョイント(6P)					
接 続	低 温 往 き	CCHMジョイント					
	高 温 往 き	CCHMジョイント					
接 続	戻 り	CCHMジョイント					
	ふ ろ	CCHMジョイント					
接 続	オーバーフロー	15A(R1/2オネジ)					
	ド レ ン	CHMジョイント					
電 源		本体電源 AC100V(50/60Hz)					
リ モ コ ン 側		DC24V以下					
	待 機 時	1.5W(浴室・台所リモコン取付時)					
消 費 電 力	同 時 使 用	280W					
	凍結予防作動時	360W					
リモコンコード		浴室リモコン2心、台所リモコン2心					
安 全 装 置		立消え安全装置(フレームロッド) 空だき安全装置(バイメタル式) 空だき防止装置(水量センサ・水流スイッチ・水位電極) 過熱防止装置(温度ヒューズ) 過電流防止装置(電流ヒューズ) 過圧防止安全装置(スプリング式)			ファン回転検出装置(燃焼ファン) 誘導雷保護装置(サージアブソーバ) 漏電安全装置(漏電リレー) 沸騰防止装置(出湯温サーミスタ) 凍結予防装置(凍結予防ヒータ・ポンプ運転)		

能力表 ※LP ガス仕様はGH-HD240Z(A)Wに対応。

使用ガス 使用ガスグループ		1時間あたりのガス消費量 kW {kcal/h}				出湯能力(最大) ℓ/分		能力 kW {kcal/h}		ガス 接続
		給湯・暖房 同時使用	給湯(最大)	ふろ	暖房	水温+ 25℃上昇	水温+ 40℃上昇	追いだき	暖房	
都市 ガス	13A	58.1{50,000}	44.2{38,000}	16.1{13,800}	16.1{13,800}	24.0	15.0	9.88{8,500}	14.0{12,000}	20A (R3/4)
	12A	54.1{46,500}	41.2{35,400}	15.0{12,900}	15.0{12,900}	22.4	14.0	9.88{8,500}	13.0{11,200}	
LP ガス		58.1{4.15kg/h}	44.2{3.16kg/h}	16.1{1.15kg/h}	16.1{1.15kg/h}	24.0	15.0	9.88{8,500}	14.0{12,000}	

◎ガス：JISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。
◎出湯能力は、水圧200kPa{2kgf/cm²}のときで、温度を高めに設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。
◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

長くお使いいただくために



販売店名